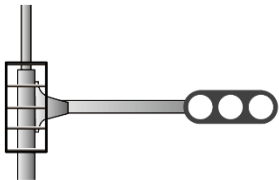








## (5) 本ガイドラインで対象とする標識

### ■案内標識

本ガイドラインで対象とする案内標識の種類とその役割を以下に示す。

名称	役割	型式	デザイン例
A 交差点名表示	●ルート案内を行う信号交差点で交差点名を明らかにする。	信号機添架	
B ルート案内(予告)	●ルート上で右左折する交差点や迷いやすい交差点で案内を行う。 ●交差点手前 50mで予告し、手前 10mで案内、分岐または右左折後に確認のためのルート名、進行方向を明示する。	案内看板	
C ルート案内(案内)		案内看板	
D ルート案内(確認)		案内看板	
E ルート案内(単路部確認)	●ルート上で分岐点や右左折の案内がない区間が 5km 以上続く場合、その中間点を目安に確認のための案内を行う。	案内看板	



はじめに	名称	役割	形式	デザイン例
1 ガイドラインの概要	F 距離標	●いばらき自転車ネットワークで起点としている地点からの距離を5km間隔を目安に明示する。	案内看板	
2 デザインの基本的な考え方	G ルート案内	●鉄道や空港、道の駅などの拠点施設において、ルートの概要や広域的なルート案内を行う。	パネル	
3 自転車通行空間の整備	H 拠点施設案内	●鉄道や空港、道の駅などの拠点施設などの方向と距離を案内する。	案内看板	
4 案内標識と注意喚起標識の整備	I 休憩施設案内	●サイクリストが活用できる休憩所やポケットパーク等の方向と距離を案内する。	案内看板	
5 拠点施設の整備方針	J ルート案内	●県内の主要な観光地や展望台などの方向と距離を案内する。	案内看板	
6 【参考資料】 自転車通行空間の運用	K 拠点施設案内	●不特定多数の人が出入りする交通施設や商業施設などの方向と距離を案内する。	案内看板	
W 拠点施設への分岐案内	●自転車ネットワークのルート上の分合流部において、分岐先の拠点施設を案内する。	案内看板		



■注意喚起標識

本ガイドラインで対象とする注意喚起標識の種類とその役割を以下に示す。

名称	役割	型式	デザイン例
L	急カーブ注意	注意喚起看板	
M	狭幅員注意	注意喚起看板	
N	歩行者注意	注意喚起看板	
O	急勾配注意	注意喚起看板	
P	合流注意	注意喚起看板	
Q	左側通行遵守	注意喚起看板	

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】 自転車通行空間の運用



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】  
自転車通行空間の運用

名称	役割	型式	デザイン例
R 路面凹凸注意	●路面状況が悪くなる区間を事前に知らせる。 (修繕や整備が困難な区間)	注意喚起 看板	
S 自転車横断注意	●自転車が人や車と錯綜する区間において、歩行者や車のドライバーに対して注意を促す。	注意喚起 看板	
T 自転車止まれ	●自転車が止まらないことにより、自動車や歩行者と接触のおそれがある危険箇所を事前に知らせる。	注意喚起 看板	

■その他（補助標識：応援メッセージ）

本ガイドラインでは、サイクリストへの応援メッセージをルート状況とあわせて提供するための標識も対象とする。その種類と役割を以下に示す。

名称	役割	型式	デザイン例
U 応援メッセージ	●ヒルクライム、ロングライドを楽しむサイクリストに対して、目的地までの応援メッセージを送る。	補助看板	
V 応援メッセージ	●ヒルクライムを楽しむサイクリストに対して、勾配やカーブ数などを提供するとともに応援メッセージを送る。	補助看板	



## 4-2 設置基準

名称	案内標識	交差点名表示	A
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルートの分岐・右左折案内看板を設置する交差点において、分かりやすさの向上のため、交差点名を明らかにする。</li> </ul>		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いばらき自転車ネットワーク上に設置する。</li> <li>● 案内する交差点手前において、分岐・右左折案内を行う信号交差点において、交差点名の表示板を設置する。</li> <li>● 信号機のアームに取り付けることを基本とする。</li> <li>● 交差点名については、交通管理者との協議のうえ、決定する。</li> </ul>		
デザインサイズ (mm)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>信号柱取付</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>信号アーム取付</p> </div> </div>		
設置イメージ			

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】 自転車通行空間の運用



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 自転車通行空間の運用

名称	案内標識	ルート案内 (予告)(案内)(確認)	B C D
役割	●自転車ネットワークのルート上での右左折交差点や迷いやすい分合流部において、進行方向を案内する。		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。</li> <li>●案内する交差点手前において、交差点停止線の手前 10m、50mの2枚の案内看板、交差点通過後 10mに確認看板を設置する。</li> <li>●設置高さは 150cm よりも低い位置で対応する。</li> </ul>		
デザインサイズ (mm)			
	<p>※交差点手前ではルートマークを省略する。                  ※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<p>※予告看板は交差点手前50mに1箇所                  案内看板は交差点手前10mに1箇所                  予告看板、案内看板、確認看板の3箇所を基本</p> <p>案内看板 ※10m手前                  予告看板 ※50m手前</p>		



名称	案内標識	ルート案内（単路部確認）	E
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自転車ネットワークのルート上で 5km 以上の不案内区間がある場合、進行方向(直進)を案内する。</li> </ul>		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いばらき自転車ネットワーク上に設置する。</li> <li>● 5 km 以上の直進ルートが続く区間ではサイクリストが不安になることを避けるため、2.5 ~ 5.0km を目安に直進の案内を設置する。(5.0km 以上の直進での無案内を避ける)</li> <li>● 設置高さは 150cm よりも低い位置で対応する。</li> </ul>		
デザインサイズ（mm）	<div style="text-align: center;"> </div> <p>※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。</p>		
設置イメージ	<div style="text-align: center;"> <p>案内看板</p> </div>		

はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】自転車通行空間の運用



はじめに

1 ガイドラインの概要

2 デザインの基本的な考え方

3 自転車通行空間の整備

4 案内標識と注意喚起標識の整備

5 拠点施設の整備方針

6 【参考資料】  
自転車通行空間の運用

名称	案内標識	距離標	F
役割	●各ルートでの走行地点をサイクリストに認知させる目的として、起終点からの距離を案内する。		
設置基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いばらき自転車ネットワーク上に設置する。</li> <li>●ルートの起点から 5km 間隔で距離標を設置する。</li> <li>●設置高さは 150cm よりも低い位置で対応する。</li> </ul>		
デザインサイズ (mm)			
設置イメージ	<p>案内看板</p>		

※設置の際には歩行者、自転車との接触を考慮し、角の処理を施す。